

きらめき

vol.34

2021.1.12

発行/社会福祉法人北星会
編集/広報誌編集委員会



リニューアルオープン!
総合在宅支援天橋園竣工!

社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277
TEL : 0772-22-8233 ホームページ : <http://www.hokuseikai.or.jp/>
FAX : 0772-22-8477 Eメール : info@hokuseikai.or.jp

吉岡均二先生を偲んで

社会福祉法人北星会 理事長 今出 陽一朗

新年明けましておめでとございます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、誰しもが経験をしたことのない未曾有の事態となり、未だに収束の見えない状況です。介護サービスを主たる業務としている私たち社会福祉法人北星会としまして、ご利用者やそのご家族に感染が及ばないように、行政の指導のもとに最大限の感染拡大防止・予防に努めてまいりました。ただしそのために対面の面会制限を行い、



デジタル機器を用いたオンライン面会となり、施設入所者のご家族の方には、大変な不自由とご不便をおかけしていますことを心よりお詫び申し上げます。

そのようなコロナ禍の1年で北星会にとつての大きな事業は「総合在宅支援天橋園」の竣工でした。昭和52年にこの地域で初めてとなる特別養護老人ホームとして開設された「天橋園」は、43年という、この地域に寄り添った年月と共に、建物は老朽化し、施設を廃止し解体する

こととなり、新たに「総合在宅支援天橋園」として生まれ変わりました。11月28日にその竣工式の神事を執り行うことができましたが、神事の後に予定していた式典は、宮津市での新型コロナウイルス感染拡大に関連して2日前にやむなく中止の決定をし、関係各所の方々へは大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

くしくも北星会の産みの親ともいえる「特別養護老人ホーム天橋園」の設立を手掛けられた初代理事長の吉岡均二先生は、竣工式直前の11月16日に御年95歳でご逝去されました。皆様のご存知の通りの、とても優しく朗らかなお顔立ちでの旅立でした。今やその微笑ましいお顔を拝見することはできませんが、その魂は私たち北星会職員一同と共に生き続け、北星会の活動と成長を見守り続けて下さることでしょう。

吉岡先生の医師としてのご経歴は、昭和24年に京都大学医学部を卒業後、京都府宮津保健所を皮切りに、昭和26年から丹後中央病院に勤務され、地域医療の強化、救急医療体制の整備に力を注がれました。昭和34

年1月に宮津市馬場先において吉岡医院を開業されて以来、50年超に亘り市民の健康増進のために日々地域医療に尽力されました。また、この間、温厚誠実なお人柄をもって人望も厚く、昭和57年度から（現在私が所属している）与謝医師会の会長を5期10年にわたり務められ、医師会の運営と更なる発展に大いに貢献いただきました。

そのように医師として地域医療に取組むなか、昭和51年に「社会福祉法人北星会」を創設され、翌年、丹後地方で初めての「特別養護老人ホーム天橋園」を設立し、初代理事長として地域の

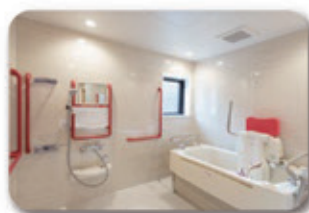




老人福祉の発展及び地域福祉の向上に貢献されました。当時のご苦労話は紙面に収まりきらず割愛させていただきます。その北星会は現在「総合在宅支援天橋園」「特別養護老人ホーム与謝の園」「介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑」「特別養護老人ホーム天橋の郷」の4つの拠点を主体として、約380名の職員をもつ法人に成長しています。こうしたご功績に対し、平成2年には京都府知事保健医療功勞者表彰、平成22年には旭日双光章を受章されました。

私たちが北星会職員一同は、吉岡先生が命名されたこの北星会という名を誇りに思い、常に胸の中に、北星会という名が示す如く、北に煌めく輝かしい星を抱き続けて、この地域住民の皆様への幸せのために、この地域がより過ごしやすい街になるように努めていく所存です。地域住民の皆様には「北星会の人には安心していつでも相談できる」といったような、親しまれ信頼され、愛される北星会を目指していきます。今後も地域住民の皆様を始め、行政ならびに同職種、多職種の皆様のご指導ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

そして吉岡先生が安心して見守り頂くことができるように、いつまでも成長し続ける北星会であることをお誓いして、吉岡先生を偲ぶ言葉とさせていただきます。



総合在宅支援天橋園
～ 竣工～



与謝の園秋まつり開催!

特別養護老人ホーム与謝の園

例年、夏の時期におこなっております与謝の園夏まつりですが、今年は新型コロナウイルスの影響やここ数年の夏の異常な暑さのこともあり、秋まつりに形をかえて開催されました。10月13日、今年ホールでの開催となり、夏まつりに比べるとコンパクトなまつりとなりましたが、ご利用者の皆様に楽しんでいただけるよう趣向が凝らされていきました。密を避けるため、デイサービスご利用者と特養ご利用者と時間をずらして入れ替え制で楽しんでいただきました。ゴルフとボーリングが合体したような「スカットボール」、職員手作りの釣り竿と獲物が自慢の「魚釣り」、皆様おなじみの「輪投げ」、おやつ屋台では厨房手作りのかぼちゃプリンを用意し、皆様歓声を上げながら



目指せ!ホールインワン!!

楽しんでおられました。各コーナーにはスタンプが用意され、かわいらしいスタンプカードに職員手作りの消しゴムスタンプを押します。素敵ですね。
魚釣りコーナーでは実物そっくりの魚が泳いでおり、釣り竿を上手にコントロールして磁石の力で吊り上げます。魚に混ざって10万円札、50万円札、さらには森進一の顔写真も獲物になっていました。(芝井絵美)



全部集まるかな?



「本気で狙いにいってます」



「だ・れ・に・し・よ・う・か・な?」



絶妙の竿さばきです

認知症サポーター養成講座&施設紹介 in 吉津小学校・宮津小学校

介護老人保健施設リハ・ヴィラ なぎさ苑

吉津小学校

なぎさ苑では、キャラバンメイトによる「認知症サポーター養成講座」を企画・運営しています。

今回は吉津小学校を訪問し、認知症サポーター養成講座及びなぎさ苑施設紹介をさせて頂きました。

例年であれば、認知症サポーター養成講座の中で、なぎさ苑若手職員で結成された「なぎさ劇団」の劇団員による寸劇を行っていますが、今年にはコロナウイルス感染症予防の為に、少数精鋭で訪問し、スライドや映像を中心に、認知症高齢者への具体的な対応についてみんなで考えました。

毎年、吉津小学校の皆さんには、なぎさ苑を訪問して頂き、施設見学や、ご利用者との交流会を行っていましたが、今年は中止となり、写真等でなぎさ苑とはどんなところかなど施設の紹介をさせて頂きました。

先生からは「子ども達は、とても楽しみにしていたので中止となり残念がっている」とお聞きしました。

例年と形は変わりましたが、子ども達には認知症の理解を始め、高齢者施設との交流を通じ福祉や介護について興味を持ち、将来一緒に働く仲間になってもらえばと思います。

(小谷元気)



宮津小学校

11月9日(月)宮津小学校5年生69名(2クラス)を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。新型コロナウイルスの感染症予防の為に、クラスごとに時間を分けて、同じ内容で2回行いました。毎年行っている職員による寸劇を今回は行わず、パワーポイントを使った講義とクイズで、少数数のグループワークを行い、認知症の理解を深めてもらいました。途中、お年寄りと一緒に楽しめる簡単な手遊びも交えて、まずは関わりを持つことが大切なことだということも伝えさせて頂きました。最後に、これまでたくさんの人たちに見守られながら大きくなった自分たちが、今度は地域の担い手として、困っているお年寄りをやさしく見守ってくださることを願いました。

毎年、この認知症サポーター研修を通して、私たち職員も認知症の対応の基本に戻り、時には子供たちの言葉や質問に考えさせられる貴重な時間となっています。

(糸井淳子)



天橋の郷大規模修繕！ 空調システム更新・照明更新LED化

BCP対策
(Business Continuity Plan)

特別養護老人ホーム天橋の郷

天橋の郷は開設から16年
が経過し、老朽化した空調
と照明機器の更新が急務と
なっております。

この度、2年の計画期間
を経て10月から更新工事を
開始し、令和3年の1月末
には完成の予定です。

今回の更新では、災害に



クレーン車で室外機を搬入

よる大規模停電等が生じて
も施設をご利用いただく皆
様の安全を守るよう（国
の国土強靱化基本計画に従
い、災害時に備えた社会的
インフラを整備）ガ
スを原料とする発電
機を新たに設け、電気、
給湯、空調等3日間は
自立供給できる能力を
整備します。

また、屋外に仮設の
厨房を設け炊き出しを
行うことも可能となり、
有事の際には施設利用
者のみでなく、地域の皆様
のお役にも立てるのではな
いかと、私たちも期待して
います。

今年度、天橋の郷は館内
全ての照明をLEDにし、
新築時の明るさを取り戻
し、災害時にも強い施設へ
と生まれ変わります。

(藤原敬也)



非常用発電機配線埋設



高所作業車でのLED交換



250台の室内機全て入替

与謝の園エアーマット更新 ～京遊連助成金を利用して～

特別養護老人ホーム与謝の園

与謝の園では古く
なったエアーマット
を公益財団法人京遊
連社会福祉基金の助
成金を利用して更新
いたしました。

11月27日(金)に
は京遊連本部で助成
金贈呈式が行われ、
目録をいただきました。
助成金にて購入
したエアーマット5
台は大切に使用させ
ていただきます。

(平田憲雄)



年間カレンダー制作編 与謝の園デイサービス

今年度与謝の園デイサービスでは、不定期開催で介護雑誌を参考にしたカレンダー制作を実施しています。

制作参加率も高く、嬉しいことに「今月もあるんか?」「家で飾って見とるで」「今度はどんなカレンダーなんやろうなあ」と、喜びや期待の声を多数いただきました。

初夏の日、玄関正面に突如現れたあさがおのカレンダーに皆さん興味津々で、「何色にしよ



8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月カレンダー



うかなあ」「配置が難しいなあ」と頭を悩まさしておられました。制作時には色とりどりの素敵なあさがおのカレンダーが完成しました。

八月のカレンダーでは浴衣と

帯の色合わせや結び方にそれぞれ個性が現れ、着付けが出来ない職員には難しい『帯の結び方講座』が開かれている場面も見られました。

十一月のカレンダーはおいしそうな松茸! これもまた色合いや大きき形にこだわりが感じられ、香りが漂ってきそうなくらい精巧な松茸ができました。

不定期ではありますが、今後も実施を予定してまいりますので、引き続きご参加いただくと嬉しいです。そして、皆さんのご自宅を彩る一つの作品になれたなら幸せです。

彩ると言えばもう一つ。「大



玄関作品

人の塗り絵が』与謝の園デイサービスでも流行りをみせており、レクリエーション時間で完成した色鮮やかな素敵な塗り絵を提供してくださる方が多数あり、玄関正面掲示スペースで常時個展が開かれています。

(中西さつき)

外食気分で！出張お寿司屋さん

天橋の郷デイサービス

天橋の郷デイサービスでは、11月に行事食でお寿司の企画を行いました。

全国的な新型コロナウイルス感染症流行の影響で、ご利用者も外出の機会を減らしておられる方がほとんどで、「どこにも出掛けられへん……」そんな声が聞こえていました。

それなら……と、調理室と協議を重ね、デイホールでお寿司を振舞い、外食気分を味わって頂こう！との運びになりました。



当日はデイホールの設えをお寿司屋さん風に演出。厨房から調理員に足を運んでもらい、目の前でお寿司を握ってもらうとデイホールはたちまち出張お寿司屋さんに変身。

目の前でお寿司を握る調理員の姿を皆さん食い入るように見入っておられました。

準備が終わり、配膳すると皆さんから「わぁ〜、これは凄い御馳走だ」と明るい声が聞こえ、ホールはいつも以上に明るい表情と雰囲気溢れ、普段少食な方も沢山召し上がっておられました。

食後、お寿司を握り終えて厨房に戻る調理員に、ご利用者から感謝の拍手喝采が送られ、和やかなひと時となりました。

これからも『今できる事』を探して、喜んで頂ける時間を提供していきたいと思っています。 (大浦俊輔)



「寿司屋開店です」

編集後記

ついに天橋園が新しくなりました。長年培ってきた歴史や福祉マインドは、脈々と受け継がれ、さらに最新にアップデートされています。前と変わらぬオレンジ色の屋根の下、地域の方がたくさんお立ち寄りいただけるように、今後も明るい話題をお届けいたします。😊



「お寿司を堪能」